

2月7日(木)から3月15日(金)まで

# 納税相談

## 納税相談日程

【会場】総合センター2階「産業経営相談室」

期日	時間	対象地区など
7日(木)	8:45～16:00	年金所得、給与所得のみ
8日(金)	8:45～16:00	田子、城内小路
12日(火)	8:45～16:00	下町、新町
13日(水)	8:45～16:00	浦子内
14日(木)	8:45～16:00 16:00～19:00	茶屋場 <b>時間延長日</b> 全地区
15日(金)	8:45～16:00	江刈馬淵
18日(月)	8:45～16:00	小田
19日(火)	8:45～16:00	四日市、江刈川
20日(水)	8:45～16:00	土谷川、平船、馬場、垂柳
21日(木)	8:45～16:00	大沢、橋場、野中
22日(金)	8:45～16:00	小屋瀬
24日(土)	9:00～16:00	<b>休日相談日</b> 全地区
25日(日)	8:45～16:00	山岸、遠矢場
26日(火)	8:45～16:00	車門、五日市、栗山
27日(水)	8:45～16:00	中村、寺田
28日(木)	8:45～16:00	田代
1日(金)	8:45～16:00	田野
3日(土)	9:00～16:00	<b>休日相談日</b> 全地区
4日(日)	8:45～16:00	泉田、小苗代
5日(火)	8:45～16:00	冬部、市部内
6日(水)	8:45～16:00	星野
7日(木)	8:45～19:00	<b>時間延長日</b> 全地区
8日(金)	8:45～16:00	吉ヶ沢
11日(月)	8:45～16:00	上外川、名前端、毛頭沢
12日(火)	8:45～16:00	元木
13日(水)	8:45～16:00	全地区
14日(木)	8:45～19:00	<b>時間延長日</b> 全地区
15日(金)	8:45～16:00	全地区

## 盛岡税務署からのお知らせ

### アイーナ会場を開設します (所得税・消費税・贈与税)

- ▷会場 アイーナ (盛岡駅西口)
  - ▷期間 2月18日(月)から3月15日(金)の平日  
※2月24日(日)と3月3日(日)は、休日相談を開設します。
  - ▷時間 9時から16時まで
- 盛岡税務署 ☎019-622-6141

町では2月7日から3月15日まで納税相談を行います。地区指定日に来られない人は、休日相談日や全地区指定日をご利用ください。詳しくは、後日配布する「平成31年納税相談のご案内」をご覧ください。  
圖住民会計課 ☎66-2111内線132、133、134

## ■申告が必要な人

平成31年1月1日現在、町内に住所があり、平成30年中にパート収入などを含む給与や営業、農業、不動産、退職などの所得がある人。

※町で配布する住民税申告書用紙は満18歳未満や75歳以上の人、住民税の給与天引きの人には送付していません。用紙がなくても申告できますので、直接会場へお越しください。

なお、税法上の申告義務はありませんが、①所得証明書や課税(非課税)証明書が必要な人、②所得がない人や非課税収入(遺族年金、障害年金、失業給付金など)のみの人も次の理由により申告をお願いします。  
※国民健康保険や後期高齢者医療制度の軽減判定、介護保険料の段階決定、医療費助成や保育料、児童手当などの算定にも申告の内容が使われます。

## ■申告に必要なもの

- ▷マイナンバーカードまたはマイナンバーが記載されている書類と身分証明書(運転免許証など)
- ▷はんこ(認印可)  
※所得税の納付がある人で、口座振替を希望する人は通帳の届出印
- ▷申告者名義の口座番号が分かるもの
- ▷収入が分かる書類
  - ①源泉徴収票の原本(給与や公的年金など)、支払調書(報酬など)
  - ②給与明細、個人年金や満期保険金などの明細書、土地や建物、山林、株式などの売買契約書や取得金額が分かる書類
  - ③収支内訳書(営業や農業、不動産などの所得がある人は収入と経費が分かる帳簿)
- ▷所得控除の内容を証明する書類
  - ①生命保険料や地震保険料の控除証明書
  - ②「医療費通知(医療費のお知らせ)」や病院、薬局などの領収書の合計額が分かるもの  
※医療費は、個人ごとにまとめ、保険や高額療養費などで戻った金額が分かる書類も持ちください。

## 納税相談をする前に…

### 牛の減価償却計算は事前に行いましょう

納税相談当日は、職員による牛の減価償却計算は行いません。事前に役場またはJA新いわて葛巻支所での確認のうえ、作成した資料を持参し相談会場へお越しください。

また、収入や支出における計算も同様ですので、あらかじめ帳簿書類などの整理をお願いします。



①②体験型のプレゼンテーションとして行った「かるた取り」の様子  
③昨年7月まで1年間、葛巻高校に通っていたマハニック・ネレさんとの再会(ドイツで披露した葛巻神楽の「盆舞」)



波紫 寛斗さん  
(2年・寺田)

## 優しい気遣いに感動

体が不自由な人に対する配慮や気遣いがとても印象に残りました。電車を利用した際、多くの方が自然と声を掛け、手を差し伸べている姿を見かけました。体が不自由な人への理解を深め、困っていたらすぐに行動に移し助けたいです。



日向 利奈さん  
(2年・小苗代)

## ドイツの文化を広めたい

ドイツの学校生活はとても刺激的でした。自分に必要な科目を選び、基本的には午前中で学校が終了。午後は趣味に時間を使っていました。自分のために時間があることは、良い習慣だと思いました。ドイツで感じた良い文化を広めていきたいです。



元村 弥佑さん  
(2年・元木)

## 観光施設を環境保護の場に

水族館には、海の中を再現し、プラスチックなどのごみが環境に悪影響を及ぼすことを伝える展示がありました。ごみを減らそうと呼び掛ける工夫は、観光だけではなく、環境保護の場にも活用されていて、熱心に取り組んでいるなど感じました。



## 第22回欧州視察 ワインとミルクの旅

くずまき高原国際交流推進協議会(中崎和久会長)と(株)岩手くずまきワイン主催の第22回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、11月15日から25日までの11日間、葛巻高校の生徒7人を含む11人が参加し行われました。  
ドイツのマールブルク市で研修をした高校生たち。今回は葛巻神楽の「盆舞」を披露しました。また、手作りから体験型のプレゼンテーションを行い、交流を深めました。生徒たちが、研修で感じたことを紹介します。



江田 玲菜さん  
(2年・元木)

## 気持ちが伝わるうれしさ

私が理解できるように簡単な英語を使ってくれるなど、ドイツの人たちの優しさに触れました。ジェスチャーを使ったり、絵を描くなどして説明し、気持ちが伝わった時は、うれしかったです。英語をしっかりと学び、またドイツを訪れたいです。



久保 帆夏さん  
(2年・山岸)

## 絵本で感じたドイツとの絆

ホストファミリーと絵本の読み聞かせをしました。ドイツには読んだことのあるものや日本人作家の絵本があり、つながりを感じました。私たちの身近にもドイツの本が読める環境があれば、さらにドイツの良さが伝わると思います。



鈴木 ひかりさん  
(2年・元木)

## 生徒の積極性が印象的

ドイツ語での授業に参加するなど充実した学校生活を送りました。一つのクラスにさまざまな年齢の生徒がいて、大きな違いを感じました。どの生徒も積極的に手を挙げて発表しているのが印象的。自分も積極的に意見を言えるようになりたいです。



土谷 柚樹さん  
(2年・元木)

## 経験を伝えていきたい

ドイツの建物は日本より古いものばかりで驚きました。街には階段が少なく、車いすの人も簡単に通ることができました。街並みから気遣いや歴史を感じることができました。たくさんを学び、感じてきたことを伝えていきたいです。